

「議会のあり方」検討協議会第19回第1部会 協議概要

- 1 日 時 平成25年4月22日(月)11時03分から12時01分
- 2 会 場 議会棟 3階 第1委員会室
- 3 出席者 (委員)米持部会長、福谷副部会長、
松坂委員、山浦委員、近藤委員、中村委員、岡田委員
小川委員長
(事務局)事務局長 他7人
- 4 傍聴者 (議員)麻生議員
(一般傍聴者)1人

5 協議事項及び協議結果

(1) 第18回部会における協議概要等について

第18回の協議概要を配付し、了承を得た。

(2) 優先協議事項(議員定数)について

協議の参考として、定数パターンごとの1人当たり人口や議会費に占める議員関係経費の割合等を整理した資料を配付した後、持ち帰りとなっていた具体的な定数と根拠についての会派の協議結果を確認した。あわせて、パターンごとのメリット、デメリットについて意見を聴取した。

委員から出された主な意見は以下のとおり。

- ・ 1票の格差が最小となる49人が妥当。
- ・ 1票の格差是正が必要。現有議席数から検討し、市民理解を考慮すると削減の方向が望ましい。また、円滑な議会運営のため常任委員は偶数とし10人、議長は中立の立場であるため委員とせず、計51人。なお、議長を委員とし50人という考えもある。
- ・ 常任委員数、1票の格差、市民意見の反映を総合的に考えると削減の方向で検討するべきだが、具体的な検討を進める前に、定数を削減するべきではないという意見に対して議論を深めるべき。
- ・ 市民意見をくみ取るためには現有議席数でも不十分で、55人が妥当。今後の協議において定数増としない場合でも、現状の54人は維持すべき。定数減は、市民意見が届きにくく、行政のチェックが機能しづらくなる。
- ・ 1票の格差是正が必要。常任委員数は偶数かつ同数とし、現在の緑区の議員1人当たりの人口が2万人強であることを考慮し、50人が妥当。

各委員より出された意見を資料に反映させ、後日、事務局より配付することとなった。

なお、部会長より、次回の協議を円滑に進めるため、議員定数についての部会報告の正副部会長試案を、資料とあわせて配付することが提案され、了承された。

(3) 今後の開催日程について

平成25年5月16日(木)午前11時